

事業計画書

平成 23 年 3 月 18 日

団 体 名	特定非営利活動法人 港南区レクリエーション協会		
代 表 者	菅 伸也	団体設立年月日	平成 17 年 10 月 20 日
団体所在地	横浜市港南区港南台六丁目 1 番 32 - 204 号		
連 絡 先	Tel 832 - 2768 Fax 832 - 2768		
現在運営している 施設名	施設種別	施設所在地	運営期間
港南台北公園こどもログハウス	ログハウス	港南区港南台 1 - 3	始 18 年 4 月 1 日 至 23 年 3 月 31 日
横浜市上大岡コミュニティハウス	コミュニティハウス	港南区上大岡東 2 - 9 - 38	始 21 年 10 月 1 日 至 26 年 3 月 31 日
			始 年 月 日 至 年 月 日
			始 年 月 日 至 年 月 日
			始 年 月 日 至 年 月 日
			始 年 月 日 至 年 月 日
			始 年 月 日 至 年 月 日

1 申請団体に関すること

(1) 団体の経営方針について

(2) 団体の事業（活動）実績について

(1) 団体の経営方針について

特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会（以下「協会」）は、区民に対して講座や講演会、野山の散策、子ども体験活動及び横浜市地区センターを中心とした地域施設協働事業に関する事業を行い、社会教育、まちづくり及び子どもの健全育成の推進を目的にした活動を通じて、相互交流を深め、地域コミュニティづくりや地域連帯意識が高揚されるよう、地域に密着した経営に努めております。

また、幼児、小学生、中学生向け事業を合理的に実施する方法として、協会会員の多種多様な能力と長年の青少年事業の経験を活かし、活動経費の縮減に努力しております。

(2) 団体の事業（活動）実績について

協会の前身は、昭和 59 年に始まった港南区中学生交流キャンプで、企画運営を担った青少年指導員と参加した青年が中心となった地域活動グループです。平成 6 年に港南区体育協会レクリエーション部設立以降、青少年キャンプを始め幅広い層の区民が参加できる事業を行ってまいりました。

また、特定非営利活動法人化に伴い、平成 17 年 11 月から少年の学び場“Yokohama ちゃれんじゃーず”を実施しております。この学び場は、平成 17 年度第 2 回横浜市青少年育成活動補助事業及び平成 18 年度から継続して子どもゆめ基金助成事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）として活動しております。

【実績】

- ・少年の学び場“Yokohama ちゃれんじゃーず” * 赤城林間学園 27 回
- ・青少年野外活動研修会 * 野島青少年研修センター他 18 回
- ・こうなん 野・山を歩こう会（5 月・11 月）* 近郊のハイキング 39 回
- ・こうなんスキー・スノボの会（2 月下旬）14 回
- ・レクリエーション講習会（10 月）10 回
- ・永谷地区センター主催ディキャンプ（野外炊事とレク）12 回
- ・港南地区センター主催ワンパクサタデー（ウォークラリー他）4 回
- ・東永谷地区センター主催ワンパクサタデー（大型すごろく、羽子板他）2 回
- ・東永谷地区センター主催歴史散策（企画・ガイド）1 回
- ・野庭地区センターまつり（ヨーヨー、綿かし、ポップコーン）2 回
- ・永谷地区センターまつり（スーパーボール、綿かし、ポップコーン）6 回
- ・港南地区センターまつり（スーパーボール、綿かし、水飴）3 回
- ・桜道コミュニティハウス文化祭（スーパーボール他）7 回
- ・港南の歴史研究会主催区内歴史散策（ガイド）5 回
- ・港南区母親クラブのつどい「ワクワクホリデー」（スーパーボール他）4 回
- ・横浜市上大岡コミュニティハウス指定管理者（平成 21 年 10 月 1 日～）
- ・港南区西部子育ての居場所事業受託（平成 22 年 4 月 1 日～）

2 施設運営に関する職員体制及び職員育成の考え方について

(1) コミュニティスタッフの配置及び採用について

(2) コミュニティスタッフの研修計画について

(1) コミュニティスタッフの配置及び採用について

ア) 配置

- ・ 館長 1 名
- ・ 副館長 1 名
- ・ チーフ 1 名
- ・ スタッフ 6 名

イ) 採用

館長、副館長は、協会理事がその任にあたります。

チーフについては、経験豊富なスタッフから選任いたします。スタッフは、地域性を考慮して徒歩通勤、自転車通勤可能な区内在住者とし、自主事業を企画実践できる者といたします。いずれも、公募し勤務状況が良好で希望するものは継続可といたします。

(2) スタッフの研修計画について

- ア) スタッフ全員参加による研修会を毎月 1 回実施いたします。救急、防犯、接遇、人権及び安全についての意識を高めていきます。
- イ) 幼児、小学生、中学生各層向け事業の企画・実践に必要な専門性をもてるよう、自主事業実施の際に実習を行っていきます。
- ウ) その他、業務活動日誌の記載内容について意見交換を行い、情報の共有化を図っていきます。
- エ) 他区ログハウスとの相互見学を実施いたします。見学後、取り入れられる内容があるかを検討し、改善の一助といたします。
- オ) 区民利用施設の自主事業に参加し、施設交流の推進を図ります。

3 個人情報の保護について

(1) 個人情報保護に関する措置

ア. 個人情報保護の取り組み

ア) 個人情報の取扱いについては、横浜市個人情報の保護に関する条例その他個人情報の保護に関する条例の規定に従い、「個人情報取扱特例事項」を遵守し、適正且つ厳格に取り扱うこととします。

イ) 利用者の個人情報の収集は必要最小限とし、二次利用は一切認めず、記入された利用者カードは翌日に廃棄いたします。

記入される際に、利用者カードの主旨と翌日廃棄を伝えるようにいたします。

ウ) 全職員に対し、個人情報保護の趣旨と取り扱いを徹底いたします

エ) 横浜市及び関係団体が行う個人情報保護等に関する研修会には、指定管理者、館長及び副館長が出席するよう勤務体制を整えます。

イ. 情報公開の取り組み

利用者の声、アンケート、第三者評価など、ログハウス運営に関わる内容については、館内掲示板及びホームページで公開するようにいたします。

4 緊急時対応（危機管理のあり方）について

- (1) 防犯、防災の対応について
- (2) その他、緊急時の対応について

(1) 防犯、防災の対応について

- ア) 防犯・防災マニュアルを作成し、職員に緊急時の対応を徹底します。
- イ) 防犯に関する研修・訓練を医療・警察等関係機関等と連携して行っていきます。
- ウ) 防災計画については、防火管理有資格者（協会役員）による防災計画の策定を行うと共に、防火訓練を実施していきます。
- エ) 夜間警備については、年間を通じて民間警備会社に委託します。
- オ) 防犯カメラ及び防犯ブザーの設置により、防犯を未然に防ぐようにしていきます。

(2) その他、緊急時の対応について

- ア) 職員の緊急連絡網及びマニュアルを作成し、電話・ファクス・メール等を駆使し、事故あるときは即対応できるようにしていきます。
- イ) 利用者の安全を第一に、臨機応変に対応し避難誘導または初期対応に当たります。
- ウ) 医療・警察・消防等の各機関との連携が保てるようにしていきます。
- エ) 近隣小中学校との連携強化を図るようにします。
- オ) 施設賠償責任保険に加入します。また、自主事業のうち、レクリエーション保険など必要なものには別途参加者保険に加入します。
- キ) 小児用 A E D（自動対外式除細動器）を備えるとともに、全職員が救命手順など研修・講習を積み緊急時に対応できるようにしていきます。
- ク) ログハウスと協会との連絡体制は常時可能な状態にし、事故発生時のバックアップ体制が取れるようにしていきます。

5 こどもログハウスの管理運営に対する基本方針

(1) 港南台北公園こどもログハウスの指定管理者を希望する理由

(2) 申請団体における港南台北公園こどもログハウスの管理運営の位置づけ

(1) 港南台北公園こどもログハウスの指定管理者を希望する理由

協会の活動目的のひとつに、「子どもの健全育成を図る活動」があります。14年間培ってきた青少年リーダー育成の実績と青少年事業のノウハウを、木のぬくもりを感じるログハウスの事業に活かし、同時に小学生高学年・中学生ジュニアリーダー育成により、子どもの活動の輪を広げることができると考えております。また、ベッタウンとしての特徴は、子育て中の親の仲間づくりやコミュニケーション不足が課題になっております。子育て中の親、特に母親の仲間づくりを支援することは協会の活動目標である「まちづくりの推進を図る活動」に合致するので引き続き指定管理者を希望いたします。

(2) 申請団体における港南台北公園ログハウスの管理運営の位置づけ

協会は、長年にわたって青少年を対象に野外施設での活動を行ってまいりました。施設ボランティアの経験、地域文化の発展・向上に向けた社会教育活動の実績を活かし、利用者の満足度が高まることを基本にした管理運営を行ってまいります。具体的には、ログハウス・プロジェクトを設け、自主事業の企画運営のサポート、スタッフに対する相談業務、簡易な補修や点検等サポート活動を行ってまいります。

6 地域の特性をとらえたこどもログハウスの管理運営について

(1) 申請団体がとらえた地域の特性

(2) (1) の特性を踏まえたうえでの、港南台北公園こどもログハウスの運営の考え方について

(1) 申請団体がとらえた地域の特性

分区分から 40 年を経て、学校建設、地域施設、交通機関や道路など都市整備がなされてきました。一方、少子高齢化が進む地域の課題を抱えるようになっております。昼間人口が夜間人口の 73% というベッドタウンとしての特徴を持っており、留守家庭の子ども、子育て中の母親の割合は多い状況であります。

(2) (1) の特性を踏まえたうえでの、港南台北公園ログハウスの運営の考え方について

子どもの創造性を育み、子ども同士が一緒になって取り組める遊びを実現させてまいります。また、活動を通して小学校高学年・中学生の自主活動意識が高まるようにしてまいります。

幼児を抱える子育て中の親の支援事業や、子育て中の親をサポートする支援体制については、協会と保育ボランティアの協働による取り組みを行ってまいります。

木のぬくもりが感じられるログハウスの特性を活かした遊び・ゲームの指導、自由遊び時の安全管理に万全を尽くしてまいります。

また、土日曜日の学校行事による月曜振替日に、小中学生が午前中から利用できるよう、第 3 火曜日を休館日（スタッフ研修、定期清掃日）といたします。

7 地域及び利用者ニーズの把握と運営への反映について

(1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について

(2) (1) で把握したニーズの運営への反映の仕方について

(1) 地域及び利用者ニーズの把握方法について

ア) 地域の代表である自治会町内会の役員、港南台北公園自由広場運営委員会代表、青少年指導員、子ども会育成者、小学校長代表、保育園代表及び公募による区民代表による「ログハウス委員会」を設置し、施設に対する意見を頂きます。

イ) 小学生(3年生～6年生)10名程度で構成する「どんぐり子ども委員会」を設置し、子ども達の声や要望が反映される施設にしていまいます。

ウ) 「利用者の声」(ポスト)を設置して、利用者ニーズを把握します。

エ) 自主事業参加者や来館者の方にアンケートを実施し利用者ニーズを把握します。

オ) ご意見ダイヤルに寄せられた意見・要望を把握します

(2) (1) で把握したニーズの運営への反映の仕方について

ア) 委員会及び利用者から頂いた意見については、館長、副館長及びチーフと協議し施設運営に取り入れてまいります。

イ) 「利用者の声」(ポスト)、アンケート、ご意見ダイヤルなどに寄せられた意見・要望については、館長、副館長及びチーフと協議し、検討内容や結果については、館内掲示板、どんぐりだより(年4回発行)、ログハウス専用ホームページなどで情報を提供してまいります。

ウ) 区役所に寄せられた要望や地域懇談会等での意見についても、区役所等行政機関と連携することで運営に反映してまいります。

エ) 自主事業(イベント)等のお知らせの方法として、こうなん区広報、どんぐりだより、ログハウス専用ホームページ及び地域広報掲示板を活用し、広く区民に情報を提供してまいります。

8 自主事業の提案について

(1) 自主事業計画に関する基本方針

※ 具体的な計画については、様式 2 及び様式 3 に記載すること

1) 自主事業計画に関する基本方針

ア) 子どもの創造性を育み、子ども同士が一緒になって取り組める遊びやゲームができるようにしていきます。

イ) 公園を活用した野外活動を行っていきます。

ウ) 自主事業活動を通して小学校高学年・中学生のジュニアリーダー育成を図っていきます。

エ) 幼児と子育て中の親を対象に、親子一緒にイベントを開催いたします。同時に、参加した母親同士が自主活動グループを立ち上げられるよう支援いたします。

オ) 自主事業の企画については、ログハウス委員会、どんぐりこども委員会、港南区街の先生の会、保育協力者グループ、ログハウス・プロジェクト、コミュニティスタッフの協働で取り組んでまいります。

9 利用者の安全対策について

(1) 安全にサービスを提供するための対策について

(2) 事故が発生した場合の具体的な対応について

(1) 安全にサービスを提供するための対策について

ア) 館内チェックリスト、遊具チェックリストを作成し、毎日の点検励行、専門業者による定期点検を行っていきます。

イ) 利用者の理解度に合わせて、遊具の使用方法の伝達、危険を伴う遊びやゲームに対する注意指導を行っていきます。

ウ) 怪我の多い柱角などの箇所には蛍光マークやクッションボードを貼るなど防御策をとります。危険箇所にネットは張るなど使用状況に合わせた安全対策をとります。

エ) 混雑してきたときは、注意しながら遊ぶように館内巡視と放送で呼掛けを実施いたします。

オ) 館内表示は子どもの視点に立った内容にするよう工夫していきます。

(2) 事故が発生した場合の具体的な対応について

ア) スタッフの役割を明確化し、緊急連絡網及びマニュアルを作成し、電話・ファクス・メール等を駆使して対応していきます。

ログハウスと協会担当役員との連絡体制は常時可能な常態にし、事故発生時のバックアップ体制が取れるようにしていきます。

イ) 事故(負傷)が発生したときは、事故(負傷)の状況により、救急措置、自宅連絡、応急措置など即対応します。また、事故(負傷)報告書を区役所に送付、同時に保護者説明用として状況報告書を作成します。

ウ) 医療・警察・消防等の各機関との連携が保てるようにしていきます

10 管理経費に関する考え方

- (1) 効率的な管理運営のための具体的な計画について
- (2) 経費節減のための工夫について

(1) 効率的な運営のための具体的な計画について

- ア) 効率的運営を行うため、協会が会計経理、労務管理を一体的に行うことで、経費を節約することが可能となり、施設管理経費の縮減に努力していきます。
- イ) 利用者や利用グループと一緒にイベントの企画運営ができるように努めていきます。
- ウ) 学校の長期休暇や季節にあった自主事業を行うこととし、支援スタッフが指導者を務めるようにいたします。

(2) 経費節減のための工夫について

- ア) 器具備品の小破修繕など出来るところは、協会会員が行うことといたします。
- イ) 施設管理に関する業者選定は、迅速性をも考慮し区内及び近隣区から選定できるようにしていきます。
- ウ) イベント等の材料費について、参加者が持ち帰れるものについては有料を検討していきます。
- エ) 館外設置の自動販売機機能を活かせるようにしていきます。

(3) 第三者評価

平成 19 年 10 月 24 日に出された第三者評価シートをもとに、管理水準のより一層の維持向上を図るようしていきます。

平成23年度港南台北公園こどもログハウス自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
お誕生会(第18回)	幼児と親、小・中学生	53,000	35,000	18,000		26,000	27,000
窓にお絵かき(年6回)	幼児、小学生	6,000	6,000	0		6,000	
森の木と遊ぼう(年2回)	幼児、小学生	18,000	18,000	0		9,000	9,000
どんぐり劇場(年2回)	幼児と親、小学生	27,000	27,000	0	18,000	9,000	
森のコンサート(年2回)	幼児と親、小・中学生	34,000	34,000	0	18,000	10,000	6,000
びっくりハウス(年1回)	小学生	16,000	16,000	0		10,000	6,000
七夕かざり	幼児、小・中学生	14,000	14,000	0		8,000	6,000
夏休み工作	幼児、小学生	14,000	14,000	0		8,000	6,000
カブラで遊ぼう(年6回)	小学生	18,000	18,000	0			18,000
どんぐり工作(年1回)	幼児、小学生	10,000	10,000	0		10,000	
公園清掃と焼き芋の会(年1回)	小学生	10,000	10,000	0		10,000	
クリスマス会	幼児と親、小・中学生	41,000	41,000	0	9,000	20,000	12,000
お正月遊び	幼児と親、小・中学生	17,000	17,000	0		8,000	9,000
豆まき	幼児、小・中学生	11,000	11,000	0		8,000	3,000
ふれあい広場(年22回)	幼児と親	44,000	44,000	0	44,000		
おはなしの会(年12回)	幼児と親	24,000	24,000	0	24,000		
		357,000	339,000	18,000	113,000	142,000	102,000

事業ごとに別紙に記載してください。

平成 23 年度港南台北公園こどもログハウス自主事業計画書

16-1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お誕生会 (18回目)	「どんぐりハウス」開設 18 周年記念イベントとして開催。館内では「新聞プール」「どんぐりマークを探せ」など、幼児から中学生までが遊べるゲームを行います。館外ではベランダでのバルーンアート、玄関前広場では綿かし、ポップコーン、スーパーボールなどを出店します。運営については、どんぐりこども委員会とスタッフが一緒になってお店屋さんやゲームを行います。また、開催日は港南台北公園で行われる日野連合ふれあい子ども祭に合わせて行います。	4月29日(休) 10:00~14:00 年1回 【広報4月号】

16-2

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
窓にお絵描き	ガラス窓に思い思いのお絵描きをして楽しみます。	5月、7月、9月、 11月、1月、3月 の第1土曜日 年6回 【広報4、6、8、 10、12、2月号】

16-3

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
森の木と遊ぼう *森のピンゴ	公園の大きな木を使ってロープ遊びを行います。異年齢、異学年間の遊びをとおして、子どもリーダーを育成します。企画及び実施に際しては区役所(土木事務所)との協働で行なえるようにしていきます。	6月4日(土)、 10月8日(土) 11:00~14:00 年2回 【広報5、9月号】

16-4

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
どんぐり劇場	少し暗い部屋の中で、お友達と肩を寄せ合い、スポットライトに照らされた舞台上で繰り広げられる人形劇、パネルシアターの世界、わくわく、ドキドキ、たくさんのかんことを感じてもらい、豊かな心を育てることを目的とします。街のアドバイザーの協力を得て行います。人形劇、パネルシアター、映画会	6月4日(土)、 10月8日(土) 10:00~11:00 年2回 【広報5、9月号】

16-5

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
森のコンサート	ログハウスのベランダと周辺を使って、楽器演奏や歌唱を楽しみます。	6月4日(土)、 10月9日(日) 16:45~17:30 年2回 【広報5、9月号】

16-6

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
びっくりハウス	ダンボールで作った迷路などで遊びます。 企画運営:こども委員会	5月5日(子どもの日) 10:00~12:00 【広報4月号】

16-7

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
七夕かざり	七夕かざりをつくります。「どんぐりハウス」に飾る大きなもの、持って帰れる小さなものをつくります。材料の笹や竹については、地域の方の協力を得て入手します。	7月1日～7日 年1回 【広報6月号】

16-8

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み工作	夏休みの作品を作り、違う学校に通う人と触れ合うことでコミュニケーションのとり方を学びます。横浜G30の観点からも牛乳パックやペットボトルを主な材料に使います。	7月30日(土)、 7月31日(日) 年1回 【広報7月号】

16-9

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カブラで遊ぼう	カブラで思い思いの造形を楽しみ、遊ぶ仲間意識を育てます。	4月、6月、8月、 10月、12月、2 月の第1土曜日 (4月と6月は第 2土曜日) 年6回

16-10

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
どんぐり工作	公園に落ちたどんぐりを使った工作遊びをします。	11月21日～27 日(1週間)年1 回 【広報11月号】

16-11

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
公園清掃と焼き芋の会(樹名板作り)	公園清掃をみんなで行った後、落ち葉で焼き芋を焼いて食べます。 *樹名板の補修も行います。	12月11日(日) 年1回 【広報12月号】

16-12

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマス会	飾り付けを利用者みんなで作ったり、うたやゲームでのお楽しみ会も行います。また室内コンサートも開催します。	12月18日(日) 年1回 【広報12月号】

16-13

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お正月遊び	百人一首、かるた、トランプ、羽子板、コマ回し、福笑いなど集団ゲームで遊びます。ゲームを知っている人、初めての人、誰でも楽しめるよう指導者を配置します。プラ板作りも行います。	1月4日～6日 年1回 【広報12月号】

16-14

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
豆まき	節分をみんなで楽しみます。	2月3日(金) 11:00、16:00 年1回 【広報1月号】

16-15

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で集まろう 「ふれあい広場」	幼児を抱える親子を対象に、親子遊び絵本の読み聞かせを楽しみます。定期的を開催することで集う人たちが顔見知りになり、子育て仲間をつくることができ、互いに助け合うことができます。 街のアドバイザー「ひまわり」の協力を得て行います。	毎月第2、第3木曜日 11:00~11:30 (8月はお休み) 年22回 【広報毎月号】

16-16

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなし会	幼児を抱える親子を対象に、童話や絵本のお話しを通して、想像する心を育てます。 街のアドバイザー「あいうえお」の協力を得て行います。	毎月第1火曜日 11:00~11:30 (5月、1月は第2火曜日)年12回 【広報毎月号】

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会
施設名	港南台北公園こどもログハウス

平成23年度港南台北公園こどもログハウス収支予算書

I. 指定管理料

(単位:円)

提案額(a) (消費税及び地方消費税を含む)	7,470,000
---------------------------	-----------

指定管理料=小計【イ】を記入
※区指定上限額(b)の範囲内で提案してください。

※区指定上限額(b)	7,472,000
------------	-----------

差引(a)-(b)	▲ 2,000
削減率(a)÷(b)	100.0%

II. 平成 23 年度収支予算書 (総括表)

1 収入の部

項目	合計金額 (単位:千円)	備考
自主事業収入【A】	16,000	
雑入【B】	152,000	
小計【ア】(【A】~【B】)	170,000	施設運営収入の計
指定管理料【C】	7,470,000	【ウ】-【ア】
小計【イ】(【C】)	7,470,000	指定管理料の計
収入合計(【ア】+【イ】)	7,640,000	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位:千円)	備考
人件費【a】	5,030,000	
事務費【b】	728,000	
自主事業費【c】	357,000	
管理費A(光熱水費等)【d】	0	
管理費B(保守管理費等)【e】	995,000	
公租公課【f】	250,000	
事務経費【g】	280,000	
支出合計【ウ】(【a】~【g】)	7,640,000	

金額は、すべて消費税及び地方消費税込みで記載してください。

平成22年度の収支を記入してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会
施設名	港南台北公園こどもログハウス

平成23年度収支予算書

1 収入の部内訳(指定管理料除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
自主事業収入	第18回お誕生会	出店収入	ア 18	
			イ	
			ウ	
			エ	
			オ	
		小計		[A] 18
雑入	自動販売機手数料		カ 150	
	電話代他		キ 2	
			ク	
			ケ	
			コ	
			サ	
		小計		[B] 152
小計【ア】		施設運営収入計	170	[A]~[B]

金額は、すべて消費税及び地方消費税込みで記載してください。
平成23年度の収入を記入してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人港南区レクリエーション協会
施設名	港南台北公園こどもログハウス

平成23年度収支予算書

2 支出の部内訳

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
大件費	常勤職員		ア	
	時給スタッフ		イ	4,921
	社会保険料他	社会保険料、健康診断費	ウ	109
	小計		[e]	5,030 ア～ウ
事務費		旅費、消耗品費、会議館い費、印刷製本費、通信費、使用料及び賃借料、備品購入費、図書購入費、施設賠償責任保険、職員等研修費、振込手数料、リース代、その他	[b]	728
自主事業費		16事業	[c]	357
管理費A	電気料金		エ	0
	ガス料金		オ	
	上下水道料金		カ	0
	小計		[d]	0 エ～カ
管理費B	修繕費		キ	250
	清掃		ク	380
	消防設備		ケ	15
	機械整備		コ	315
	空調設備		サ	
	エレベーター		シ	
	自動ドア		ス	
	電気保守管理点検		セ	
	非常用放送設備		ソ	
	害虫駆除		タ	
	植栽管理		チ	
	設備総合巡視点検		ツ	
	その他	その他保守費	テ	35
			ト	
			ナ	
		ニ		
小計		[e]	995 キ～ニ	
公租公課		消費税(仕入税額控除後の額)、法人市民税、事業所税など	[f]	250
事務経費		労務、経理、契約、職員研修など	[g]	280
小計【ウ】		施設管理運営経費計	7,640	[a]～[g]

金額は、すべて消費税及び地方消費税込みで記載してください。
平成23年度の支出を記入してください。

(様式5)
平成23年度

収支予算書

施設名 港南北公園こどもログハウス

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	7,470,000				0	横浜市より
利用料金収入						
自主事業収入	18,000				0	
雑入	152,000	0	0	0	0	
印刷代					0	
自動販売機手数料	150,000				0	
その他(電話代)	1,800				0	
その他(利息)	200				0	
その他()					0	
収入合計	7,640,000			0	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	5,030,000	0	0	0	0	
給与・賃金	4,920,000				0	給与、アルバイト賃金
社会保険料	46,000				0	
通勤手当	0				0	
健康診断費	64,000				0	
勤労者福祉共済掛金	0				0	
事業費	722,000	0	0	0	0	
旅費	10,000				0	説明会、打合せ会他
消耗品費	230,000				0	折り紙、コピー紙他
会議賄い費	10,000				0	委員会バック茶
印刷製本費	15,000				0	資料印刷
通信費	75,000				0	電話代、郵送料
使用料及び賃借料	1,000				0	委員会会場費
備品購入費	150,000				0	遊具
図書購入費	25,000				0	児童書
施設賠償責任保険	180,000				0	施設賠償責任保険
職員等研修費	10,000				0	施設研修
振込手数料	10,000				0	銀行振込手数料
リース料	22,000				0	コピー機
手数料	0				0	
地域協力費	0				0	
その他	10,000				0	緑の協会、花壇材料
事業費	357,000	0	0	0	0	
自主事業費	357,000				0	16事業
わんぱくホリデー	0				0	
管理費	995,000	0	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金					0	
ガス料金					0	
水道料金					0	
清掃費	380,000				0	定期清掃、ゴミ袋代
修繕費	250,000				0	補修材料費
機械警備費	315,000				0	機械警備
設備保全費	50,000	0	0	0	0	
空調衛生設備保守					0	
消防設備保守	15,000				0	保守点検
電気設備保守					0	
害虫駆除清掃保守					0	
その他保全費	35,000				0	消火器
共益費					0	
公租公課	250,000				0	消費税、法人税
事務経費	280,000				0	経理事務費、事務用品
二一ズ対応費						
支出合計	7,640,000	0	0	0	0	

差引	0	0	0	0	0	
----	---	---	---	---	---	--